

使途① 受入環境の充実
【89,263千円】

○【重点】移動利便性の向上

- ・エアポートライナーの運行（一部充当）【1,684千円】
- ・まりむ号の運行【8,000千円】
■空港と阿寒湖温泉を結ぶ「阿寒エアポートライナー」及び阿寒湖温泉街循環バス「まりむ号」の運行に係る経費



○宿泊施設等の受入環境整備支援

- ・宿泊施設の滞在利便性向上【20,000千円】 ■宿泊施設整備補助



○地域におけるおもてなし力の向上

- ・幣舞観光がバスターションの運営費【4,717千円】
- ・釧路市観光WEBサイト管理運営費【560千円】

○観光地の景観整備

- ・湿原展望台遊歩道の修景伐採【990千円】
- ・阿寒湖アイヌ文化の景観改善【1,137千円】

○観光施設、文化・スポーツ施設の魅力づくり

- ・湿原展望台遊歩道の再整備（一部充当）【14,948千円】 ■調査・実施設計費

・観光施設の機能維持・充実【26,891千円】

- 湿原展望台遊歩道修繕
- 湿原展望台整備（光回線整備）
- 阿寒町自然休養村整備（温泉設備・機器更新）
- 音別町憩いの森整備（Wi-Fi環境整備）



・スポーツ施設の機能維持・充実《合宿支援》【10,336千円】

- 釧路市鳥取温水プール整備（プール系統暖房配管更新）（一部充当）
- 国設阿寒湖畔スキー場整備（競技用計時装置更新）



・阿寒湖温泉冬季スポーツ大会開催費【9,175千円・再掲】

使途② 地域資源の磨き上げと魅力向上
【33,666千円】

○【重点】アドベンチャータラバ（AT）の推進

- ・AT専門人材の配置【8,100千円】
■阿寒湖温泉地域へのAT専門人材2名の配置に係る経費
- ・AT推進人材の育成【2,049千円】
■スルーガイド育成に係る経費
- ・アウトドアガイドの育成【1,500千円】
■ガイドを目指す人のための「アウトドアガイド基礎講座」実施に係る経費



○滞在型まちなか観光の推進

- ・ナイトツーリズムの充実【702千円】
■Cool KUSHIROイベントや幣舞橋のライトアップに係る経費



- ・阿寒湖温泉での冬季スポーツ大会の開催【9,175千円】



○効果的な情報発信と戦略的なプロモーション

- ・釧路空港就航路線の利用促進【9,400千円】
■航空会社とタイアップした釧路線利用促進事業の実施に係る経費
- ・ひがし北海道での空港間連携【1,500千円】
■ひがし北海道エリアの情報発信と誘客セールスの実施に係る経費
- ・道東自動車道の利用促進【1,240千円】
■「ウェルカム道東道!! オールくしろ魅力発信キャンペーン市町村実行委員会」による利用促進及び道央圏等からの誘客に係る経費



使途③ 持続可能な観光地づくり
【32,671千円】

○【重点】DMO・DMCの体制強化

- ・DMO推進体制の強化【1,223千円】
■地域プロジェクトマネージャーの配置に係る経費
- ・住民満足度の調査【1,220千円】
■釧路観光コンベンション協会及び阿寒観光協会まちづくり推進機構による住民満足度調査に係る経費
- ・観光地域づくりの推進【5,228千円】
■「水のカムイ観光圏」に係る経費



○観光業界の人材育成・確保

- ・AT専門人材の配置（8,100千円・再掲）
- ・AT推進人材の育成（2,049千円・再掲）
- ・アウトドアガイドの育成（1,500千円・再掲）

○マーケティングデータの活用と共有

- ・住民満足度の調査（1,220千円・再掲）

○サステナブルツーリズムの推進

- ・阿寒湖のマリモの保護研究（一部充当）【5,000千円】
- ・湿原展望台遊歩道の再整備（14,948千円・再掲）
- ・遊歩道修繕・修景伐採（3,290千円・再掲）



○災害等の不測事態への備え【20,000千円】

- 20,000千円×5年間＝1億円を積み立て



使途④ その他 税導入に係る経費（徴税費用）【56,111千円】

- ・R 7年度：市税システム導入、システム整備費補助金 ほか【54,811千円】
- ・R 8年度：システム保守料 ほか【1,300千円】
- ※R 7年度の徴税費用は徴収開始前であることから一般財源の充当により実施し、R 8年度の税収から一般財源に返還することとしています。

◆**税収見込：275,000千円(※)-211,711千円=63,289千円（次年度以降に活用）**

※税収は年間3億円を見込んでいますが、納入時期の都合上、初年度はR 8年4月～R 9年2月宿泊分の11か月分を活用します。